

厚生労働省北海道労働局発表
令和5年11月27日

担当	厚生労働省 北海道労働局労働基準部安全課 安全課長 佐藤 浩一 主任安全専門官 衿 裕美 電話：011-709-2311(内線 3551)
----	---

労働災害多発月(12月)の災害防止対策の徹底について ～慌ただししい時こそ作業前の安全確認の徹底をお願いします～

北海道労働局(局長 みとみのりえ 三富則江)は、平成30年から令和4年の5年間の累計で死傷災害が多く発生した12月を迎えるにあたり、北海道で働く全ての皆様に注意喚起を図り、安全衛生対策の徹底をお願いするためのリーフレットを作成し、周知を行います。

1 目的

北海道の事業者及び労働者の方に、業種を問わず、12月が災害多発月であることを認知していただき、年末の慌ただししい中でも安全衛生対策を確実に実施していただくことで12月の死亡災害ゼロ、休業災害の減少(対前年同期比)を目指します。

特に12月に休業災害が多発する転倒、動作の反動・無理な動作といった行動災害は事業者による対策だけでは防止が難しく、労働者の方の行動を変えていただくといった意識変化が求められます。

そのため、12月に特に注意していただきたい3つの重点対策(転倒防止、交通事故防止、脚立等からの墜落防止)をチェックできる別添リーフレットを作成し、広く周知します。

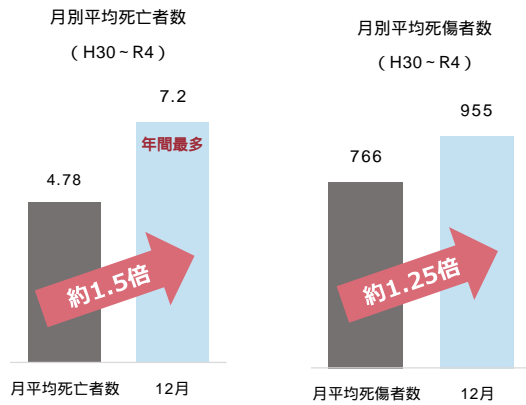
2 災害発生状況(平成30年から令和4年の5年間の累計)

12月は、平成30年から令和4年の月別死亡者数の累計が36人と1年で最も多くなっています。5年累計の月別平均値では7.2と年間平均値の約1.5倍の災害発生件数となっています。また、死傷者数も5年累計の月別平均値では955と年間平均値の約1.25倍の災害発生件数となっています。

死亡災害の事故の型別内訳は交通事故33%、墜落・転落17%、崩壊倒壊14%となっています。

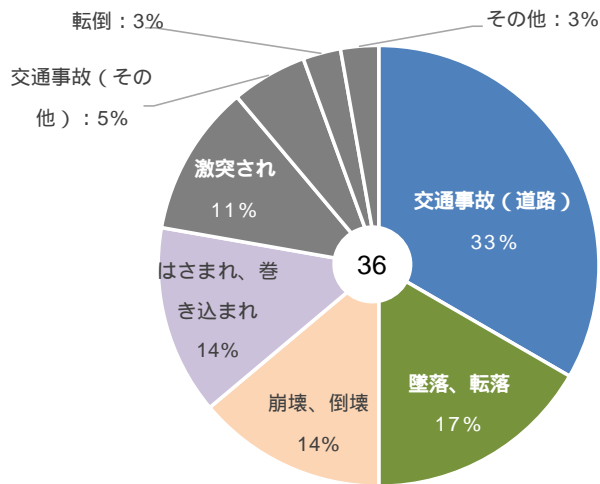
死傷災害の事故の型別内訳は新型コロナウイルス感染症によるものを除くと転倒39%、墜落・転落16%、動作の反動・無理な動作11%、はさまれ・巻き込まれ9%、交通事故(道路)7%となっています。

【月別死傷災害発生状況（平均値比較）】



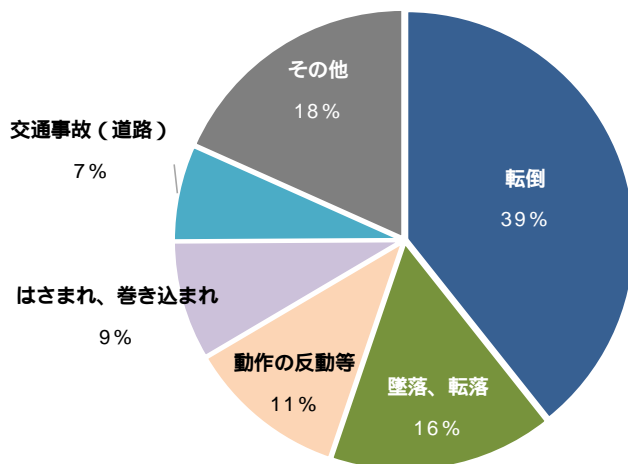
【死亡災害事故の型別発生状況】

(平成30年から令和4年の12月発生分の5年間累計)



【死傷災害事故の型別発生状況】

(平成30年から令和4年の12月発生分の5年間累計（新型コロナウイルスによるものを除く）)



(労働者死傷病報告書)

(道政記者クラブ・経済記者クラブに同時提供)